

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊万里市	二里地区(中田集落)	令和3年3月31日	/

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	33.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	25.6ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕地面積の合計	9.0ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	9.0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	ha
④地区内において、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	ha
<p>(備考)集落の取り組みについては、定期的に話し合いを行い、目標を設定し、年次的に取り組みを行っている。令和2年度には棚田地域振興計画の認定を受け、地域振興に取り組んでいる。</p>	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・農地の受け皿となる農業生産組織(中田元気農業等)により、耕作または管理が困難な農地を引き受けているが、全ての農地の集約は困難となっている。 ・耕作条件の悪い農地がある。 ・耕作を継続していきたいが、農業所得が低く、また、法面や水路・農道等の管理が過重な負担となっている。 ・鳥獣(イノシシ、アライグマ等)被害が深刻であり、耕作意欲が減退している。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>【集落営農組織の法人化】 中心経営体がないことから、将来的に、現在の集落営農組合を母体として法人化を目指し、その法人を中心とした効率的で安定的な農業経営の実現を図り、地域農業の持続的発展を目指す。</p>
<p>【集落内で担い手を育成・確保】 集落内で「農業離れ」が進んでおり、また、農業に携わる機会が減少していることから、集落内農家の後継世代及びその子供たちに基幹作業への参加を促し、円滑な世代交代を図る。また、家庭内でも農業に関する話をする機会が少ないため、後継世代に対して農業に関する話を積極的に行う意識をもつ。</p>

■集落における中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	中心経営体数 2	麦、肥育牛	11.9ha	麦、肥育牛	11.9ha	
		(内、大豆	2.4ha)	(内、大豆	2.4ha)	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

【鳥獣被害防止対策の実施】

イノシシやアライグマ等の鳥獣被害が多いことから、継続してその防止対策を行う。

【新規作物の導入方針】

高収益が見込める野菜等(高菜、その他)の作付けを行う。
酒米を作付・生産し、地元酒造と協力して販売を行う。

【農作業の負担軽減の取組】

農業用ドローンでの防除(委託)を行い、農作業の省力化を図る。

【集落の自治(コミュニティ)機能の強化】

棚田地域の特性を生かした各種イベント等を継続して実施し、集落内はもとより、市内外からの交流人口増加を図る。